



第 20 号(平成 27 年 1 月 15 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三歩 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難の代表的な事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成26年の山岳遭難発生状況(1月1日～12月31日)


区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出等	遭難者計
平成 26 年	272	46	5	148	102	301
平成 25 年	300	65	9	161	93	328
前年比	-28	-19	-4	-13	9	-27

山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	73	26.8%	17	0	44	24	85
	後立山	66	24.3%	9	1	38	23	71
	その他	28	10.3%	3	0	14	13	30
	小計	167	61.4%	29	1	96	60	186
中央アルプス	14	5.1%	1	0	11	4	16	
南アルプス	9	3.3%	0	1	4	4	9	
八ヶ岳連峰	36	13.2%	7	0	19	15	41	
その他の山岳	46	16.9%	9	3	18	19	49	
計	272		46	5	148	102	301	

日付 平成26年	場所	年齢	性別	態様	死傷別	状況
12月22日	八ヶ岳連峰 赤岳	72歳 69歳	男性 男性	疲労凍死傷 疲労凍死傷	死亡 負傷	県界尾根を下山中、積雪のため道に迷ったことから、赤岳頂上まで戻りビバーク、その後低体温症により1名が死亡、1名が凍傷
<p>20日から2人パーティーで八ヶ岳連峰に入山し、21日下山予定であった東京都杉並区居住の男性72歳が、赤岳頂上付近で行動不能となったと、同行者から救助要請があり、茅野警察署員及び諏訪地区遭対協隊員が出動し、午後3時40分、遭難者を発見して付近の山小屋に收容した。東京都居住の男性72歳については、23日午後0時10分、県警へりにより救助しましたが、午後2時30分、低体温症により死亡が確認されました。同行者の埼玉県鶴ヶ島市居住の男性69歳も、手足等に凍傷が認められることから、救助隊員が付き添って下山し、茅野市内の病院へ搬送されました</p>						
12月27日	八ヶ岳連峰 中岳	49歳	男性	疲労凍死傷	負傷	阿弥陀岳から中岳方面に向け下山中、天候不良によりビバーク、その後、疲労と凍傷のため行動不能
<p>26日から単独で入山し八ヶ岳連峰中岳を下山中の山梨県都留市居住の男性49歳が、天候不良により登山道を見失いビバークしていたが、本日、疲労と凍傷等により行動不能となったと、通りかかった登山者から救助要請があり、午後0時15分、県警へりで救助して茅野市内の病院に收容しました。</p>						
12月28日	八ヶ岳連峰 天狗岳	35歳	男性	疲労凍死傷	死亡	単独で入山後、天狗岳スリバチ池付近で低体温症により死亡
<p>28日午前11時30分ころ、八ヶ岳連峰天狗岳において、下山中の登山者が、樹林帯の中で低体温症で死亡している東京都居住の男性35歳を発見しました</p>						



12月28日	八ヶ岳連峰 横岳	32歳	男性	滑落	負傷	単独で入山後、小同心付近で滑落、負傷
<p>27日から2泊3日の予定で単独で入山し、本日八ヶ岳連峰硫黄岳を目指して登山中の大阪府大阪市居住の男性32歳が、誤って横岳方面に向かい滑落したのを、他の登山者が目撃したと通報があり、午後2時43分、県警へリで救助して茅野市内の病院に収容しました。男性は右鎖骨、右膝骨折等の怪我を負っています。</p>						
12月31日	北アルプス 燕岳	64歳	女性	疲労凍死傷	死亡	単独で合戦尾根を登山中、低体温症により死亡
<p>30日から単独で中房温泉から北アルプス燕岳に向かい登山中の山梨県笛吹市居住の女性64歳から、本日悪天候で道に迷ったと救助要請があり、午後8時55分、北ア南部地区遭対協救助隊により発見して山小屋に搬送しました。</p>						
12月31日	志賀高原 横手山	36歳	男性	道迷い	無事救出	横手山山頂からゲレンデ外を滑走中、道に迷い、救助要請
<p>31日午後5時13分、志賀高原横手山でスキーをしていたオーストラリア人観光客の男性36歳が、ゲレンデから外れて迷ったとホテルを通じて救助要請があり、午後8時00分、中野警察署員及び志賀高原地区遭対協救助隊により発見・救助しました。男性に怪我はありません。</p>						

平成26年分のまとめ

- ◇長野県山岳遭難防止対策協会では平成26年の遭難件数の抑止目標を260件と定め、様々な情報提供と啓発活動を実施してきましたが、この目標を達成することはできず、年間を通じ272件の遭難件数となりました。
- ◇5年連続過去最多記録を更新するという事態は免れましたが、272件は平成25年(300件)に次ぐ2番目に多い遭難件数となります。
- ◇今後とも様々な機会やルートを通じて「山岳遭難のリスクをリアル」に伝え、一件でも多く事故を減らしたいと考えていますので、登山者に対する情報提供についてより一層のご協力をお願いします。

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	状況
平成 27 年						
1 月 1 日	八ヶ岳連峰 赤岳	59 歳	男性	道迷い	無事救出	地蔵尾根を下山中、道に迷い、行動不能
<p>12 月 30 日から単独で八ヶ岳連峰に入山し、1 日地蔵尾根を経由して美濃戸口に下山中の東京都居住の男性 59 歳から、道に迷って行動不能となったと救助要請があり、冬山パトロール中の茅野警察署山岳遭難救助隊と諏訪地区遭対協救助隊により、午前 8 時 42 分、男性を発見・救助しました。</p>						
1 月 1 日	北アルプス 五竜岳	40 歳	男性	疲労凍死傷	負傷	遠見尾根を登山中、積雪のためテントが潰れ、低体温症により、行動不能
<p>1 日午後 9 時 49 分、単独で北アルプス中遠見山に入山した東京都調布市居住の男性 40 歳から、強風でテントが飛ばされそうだと救助要請があり、北ア北部地区遭対協救助隊、県警山岳遭難救助隊及び県警へりが出動し、2 日午後 0 時 28 分、男性を救助して松本市内の病院に収容しました。</p>						
1 月 2 日	八ヶ岳連峰 横岳	55 歳	男性	疲労凍死傷	負傷	稜線を縦走中、日没の為行動不能となり、ビバーク中に低体温症により、行動不能
<p>1 日から単独で八ヶ岳連峰に入山し、赤岳方面に向け登山中の東京都居住の男性 55 歳が、2 日から横岳付近で日没のため登山道を見失いビバークしたが、低体温症と凍傷等により行動不能となっていると、通りかかった登山者から救助要請があり、午後 2 時 45 分、県警へりにより救助して松本市内の病院に収容しました。</p>						

1月3日	大町市 小熊山	36歳	男性	道迷い	無事救出	単独で入山後、日没のため に道に迷い、行動不能
<p>3日午後8時26分、大町市内の小熊山に写真撮影で入山した愛知県碧南市居住の男性36歳から、日没になり行動不能となったと救助要請があり、本日午前0時05分、県警山岳遭難救助隊により救助して大町市内の病院に収容しました。</p>						
1月5日	北アルプス 唐松岳	45歳	男性	転倒	負傷	八方尾根でバックカントリー 一中に転倒、負傷
<p>5日午前11時01分、2人で北アルプス八方尾根に入山し、バックカントリースキーをしていた兵庫県神戸市居住の男性45歳が、滑走中に転倒して頭部等を負傷し行動不能となったと同行者から救助要請があり、午後0時43分、県警へリで救助して松本市内の病院に収容しました。</p>						
1月11日	八ヶ岳連峰 天狗岳	68歳 65歳	男性 女性	道迷い	無事救出	中山峠に向け下山中、天候が 悪化して道に迷い、行動不能
<p>11日、2人パーティーで八ヶ岳連峰天狗岳に入山し、山小屋に下山中の東京都八王子市居住の男性68歳と神奈川県川崎市居住の女性65歳から、登山道を誤って行動不能となったと救助要請があり、茅野警察署員及び諏訪地区遭対協救助隊が、12日午前8時20分発見し、午前9時15分、付近の山小屋に収容しました。2人に怪我はありません</p>						

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-toursim@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝